

## InfiniVAN、フィリピンのデジタル基盤強化に向けた通信会社 DITO との戦略的光ファイバー共有パートナーシップに関する契約で調印式

フィリピンにおいて電気通信事業を営む当社連結子会社 InfiniVAN, Inc.（以下「InfiniVAN」）は、フィリピンの通信会社 DITO Telecommunity Corporation（以下「DITO」）と、フィリピン国内のデジタル基盤強化に向け、戦略的な光ファイバー共有パートナーシップに関する契約（以下「本契約」）を締結し、本日、調印式を開催しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 本契約の背景と目的

当社グループの国際通信事業においては、InfiniVAN が、フィリピンでの通信事業のライセンスを取得しています。2023 年にはフィリピンの島々を結ぶフィリピン国内海底ケーブルネットワーク（Philippine Domestic Submarine Cable Network、以下「PDSCN」）が完成し、PDSCN を中心とする国内基幹網を構築したことにより、それまでマニラ首都圏を中心に提供していた通信インフラやサービスを、フィリピン全土に展開することが可能となっています。

一方、DITO は、フィリピンと中国の企業が設立した合弁会社で、フィリピン国家電気通信委員会（NTC）から 2019 年に通信会社として承認され、携帯電話事業などを展開しています。

両社は、海底や陸上地下、架空の光ファイバーケーブルを含む光ファイバー施設を保有しており、また、相互に提供可能な光ファイバーペアを保有していることから、本契約によって、相互に相手方の光ファイバーペアへのアクセス権を付与することに合意いたしました。全国規模で冗長性や障害耐性を高めるとともに、インターネットサービスの継続性を強化してまいります。



調印式にて、DITO の Ernesto R. Alberto, President and CEO（前列右から 2 人目）と InfiniVAN の中原茂樹 President（同 3 人目）

DITO の Ernesto R. Alberto, President and CEO は「この提携は、より強靭で包括的、かつ将来を見据えたデジタルフィリピンを構築するという共通の決意を反映したものです」と述べています。

また、InfiniVAN の中原茂樹 President は「この協力関係は信頼と相互利益に基づいています。両社の強みを組み合わせ、リソースを共有することで、DITO と InfiniVAN はより広範なカバレッジ、より高いネットワーク安定性、そして国のデジタル変革のためのより強固な基盤を提供できます」と述べています。

## 2. 本契約の概要

### (1) 本契約の内容

InfiniVAN と DITO は、本契約に基づき、以下の内容に合意いたしました。

- 相互に、海底・陸上地下・架空のダークファイバーを含む光ファイバー設備へのアクセス権を付与
- 個別に締結する特定の施設契約に基づき、所有権やアクセス権、保守責任、サービス復旧手順を定義

### (2) 本契約の相手先

DITO Telecommunity Corporation

2019 年にフィリピン国家電気通信委員会（NTC）から公益性・必要性証明書を取得した通信事業者で、Udenna グループと中国電信による合弁（joint venture）で設立されたフィリピン企業です。

以上

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 課 03-3549-7719